

自己肯定感はとても大切です！！

自己肯定感とは、生涯において幸福な人生を送る上で欠かせないものだとされています。

自己肯定感とは自分の能力や可能性が優れており、自分の存在そのものに価値があると自分自身が考えていることです。また、自分の優れていることばかりではなく、現在、苦手なことや駄目なこともしっかり理解した上で、それも含めて「自分のことが好き。自分はやればできる。」と考えていることです。この自己肯定感が高いと、困難な問題に直面しても、自分ならきっと乗り越えられると判断し、前向きに解決に向けた取り組みを始めていけるのです。ですから、ちょっとしたことで不安を抱くことはありませんし、ぶれることなく自信を持って、自分の判断でよりよく生活していけるとされています。逆に自己肯定感の低い人は、いろいろなことを不安に感じ、悩みながら生活することになります。自分を大切に思えないので他人とのトラブルも多くなり、幸福感を感じる事が難しくなるとされています。文部科学省もこの自己肯定感を重視しており、小学校6年生の全国学力テストの質問紙で調査をしたり、高校生を対象にした調査などを行ったりしていますが、世界の中で、日本人の自己肯定感はダントツで低い結果となっています。これは、日本の文化として、幼少期から「それは駄目！」「これもできないの！」という否定的な言葉かけが多いからだと考えられています。逆に「あなたはこんなことができてえらいわね！」「よく頑張ったね！」「あなたのこんなところが大好きよ！」という肯定的な言葉かけを周囲からたくさんもらいながら、自信をつけることで、自己肯定感が高まるとされています。子供たちのよいところをどんどん褒めていきましょう！

運動会、所期の目標達成！！

・・・ 日之影っ子は本番に強い！やればできる！ ・・・

台風で延期となった運動会は、大変素晴らしい運動会になったと嬉しく思っています。子供たちがそれまでに練習したことやこれまで培ってきた力を十分に発揮し、運動会への取り組み前と運動会後のピフォア・アフターが大きく変わったと感じるからです。開会の挨拶でも述べたように、それぞれの子供たちが運動会を通して一回りも二回りも向上したように思います。開会式や閉会式で役割を持って朝礼台の上に上がった子供たちも、一生懸命練習していることはわかっていましたが、その成果を予行練習以上に発揮してくれました。本番に強い子供たちだなと感じました。競技や演技も同じです。練習を重ねるごとに毎回成長を感じることができましたが、やはり本番が一番だと思いました。本番に強い子供たちです。やればできるのです！



11月の全校朝会！！

・・・日之影っ子は本番に強い！やればできる！・・・

11月6日に全校朝会を行いました。校長の話として、これからの社会は大きく変化するので、どんな社会であろうと自分に自信を持ってたくましく生きていくようにと話しました。その後、表彰を行いました。今回の表彰は、県文集「ともだち」の入選者、西臼杵郡陸上教室での上位入賞者、九電みやざき絵画コンクールの入賞者、ソフトボール県大会第3位の選手2名など、全校児童の約半数

近くの子供たちが表彰を受けました。すごい子供たちだなと思います。今日、表彰されなかった人もこれからチャンスがたくさんありますよと締めくくりました。受賞者は次の通りです。

11月全校朝会での表彰者！！

《県文集「ともだち」》

- 優秀賞（作品掲載）
 - 2年 羽賀 唯織さん
 - 2年 若杉 一花さん
 - 4年 田中 小巻さん
 - 6年 甲斐 航惺さん
- 入選（氏名掲載）
 - 1年 甲斐 翔さん
 - 2年 黒川 萌子さん
 - 5年 岩尾 鼓音さん
 - 5年 河野 心音さん

《九電みやざき絵画コンクール》

- 佳作
 - 5年 佐藤 ひなたさん

《陸上教室入賞者》

- 5年生の部
 - ソフトボール投げ 第2位 寺尾 拓海さん
 - ソフトボール投げ 第6位 谷川 亜沙美さん
 - 100M走 第5位 岩尾 鼓音さん
 - 50Mハードル 第5位 橋本 幸村さん
- 6年生の部
 - 50Mハードル 第3位 甲斐 航惺さん
 - 50Mハードル 第6位 黒川 香子さん

《県秋季親善ソフトボール大会》

- 第3位 宮水ソフトボールスポーツ少年団
 - 5年 寺尾 拓海さん
 - 6年 甲斐 航惺さん

日之影町地域と学校をつなぐ音楽祭！！

・ ・ ・ 日之影っ子は本番に強い！やればできる！ ・ ・ ・

10月26日に「日之影町地域と学校をつなぐ音楽祭」が開催されました。昨年度は中止ということでしたが、今年度は日之影中学校を会場として、大変充実した、盛り上がった音楽祭となりました。本校児童も6月くらいから練習に入り、心を1つにしながらかも確実によい合唱・演奏へと向上していきました。本番においても、広いステージで多くの観客を前にしての合唱や合奏は、それぞれの子供たちが緊張し、不安や自信が入り乱れる中での発表であり、そのこと自体も子供たちにとって大きな意義のある経験になったことと思っています。これまでの練習と比較しても、本番が最高の演奏だと思いました。各小中学校、それぞれに工夫された、また、練習の成果がよく現れた発表がなされ、それを聴くこともよい経験になったことと思っています。また、ALTのカロリン先生の斉唱では感動して涙が出ましたし、鑑賞教室として演奏していただいた村上三絃道の皆さんのミニコンサートでも青雲橋音頭を小中学生のみならず保護者や地域の方も一緒に大きな輪になって踊るといふシーンもあり、盛り上がりしました。本校では5年生の抜屋麻奈美さんが選ばれましたが、その場で選ばれた児童生徒の三味線体験もあり非常に楽しい時間を過ごすことができました。子供たちにこんな素晴らしい音楽祭を企画・開催していただいた関係の皆様には、感謝、感謝です。やっぱり日之影っ子は本番に強い。やればできる！



11・12月の主な行事予定

- 11月 1日 (木) シェイクアウト訓練
- 11月 7日 (水) 修学旅行 (6年)
- 11月 9日 (金) 秋の遠足 (丹助山登山)
- 12月 14日 (金) 参観日、学校保健委員会
持久走大会
- 12月 21日 (金) 2学期終業式